

# 2012年 7月のアンガージュマンの予定

利用は会員となり、フリースペース、キックオフプロジェクト、相談・コーディネート、学習サポート等をお選び下さい。まずは電話などでお問い合わせ下さい。見学も大歓迎！

月(Mon) 火(Tue) 水(Wed) 木(Thu) 金(Fri) 土(Sat) 日(Sun)

フリースペースの 利用時間は 10:00~16:00です。	【予告】夏だ！肉だ！B・B・Q!!! 日時 8月26日(日) 2:30~ 場所 野島公園 バーベキュー場 参加費 大人1,000円 子ども500円 申込・詳細は、事務局イシイまで。						1 ※
2 さくらんぼ まつり 学習サポート	3 学習サポート	4 12:00 昼食会 (300円) 学習サポート	5 学習サポート	6 学習サポート	7 ※	8 ※ 保護者会 14:00~16:00	
9 学習サポート	10 学習サポート	11 12:00 昼食会 (300円) 山形物産市 (はるかぜ書店前) 学習サポート	12 学習サポート	13 灯ろうまつり 学習サポート	14 ※	15 ※	
16 ※	17 学習サポート	18 12:00 昼食会 (300円) pm 2:00 ボランティア ミーティング リエゾン団 宅配 学習サポート	19 学習サポート	20 学習サポート	21 ※	22 ※	
23 学習サポート	24 学習サポート	25 12:00 昼食会 (300円) 学習サポート	26 学習サポート	27 学習サポート	28 ※	29 ※	

## 7月のボランティア募集

参加希望の方は  
事前にご連絡下さい。

イベント	日付	定員	主な活動内容
灯ろう夜市	7月13(金), 14(土)	10名	出店の手伝い、交通整理 花火・アイス配り
フリースペース	土日祝 除く	5名	話やゲームの相手、 ともに過ごす
物産市	7/11(水)	3名	物品販売、陳列、 チラシ配布
物産宅配	7/18(水)~20(金)	3名	検品、仕分け、梱包、配達
昼食会	7/4, 11, 18, 25(水)	3名	調理、盛りつけの補助
通信発送作業	7/30(月)	5名	通信の折り、封入、封止め
夜のフリースペース	7/6, 20, 27	5名	ともに過ごす
下校時の防犯	平日14:40~16:00	2名	町内の巡回、見守り

夏休みのお知らせ  
あはうと・ネクスト  
8/11(土)~19(日)

キックオフは決まり次第、  
利用者にお知らせします。

2012年(平成24年)

7月1日 発行

アンガージュマンとはフランス語で社会参加という意

# Le Engagement

Engagement  
Eyokosuka

NPO法人アンガージュマン・よこすか

発行所：〒238-0017神奈川県横須賀市上町2-4 電話：046-801-7881

http://engagement.angelicsmile.com/ 発行責任者：島田徳隆 編集責任者：石井利衣子  
http://blog.canpan.info/engagement/(ブログ) engagement@angelicsmile.com(メール)

第101号

新たに理事長に就任いたしました、島田徳隆です。改めまして、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 【抱負】

#### その1. のんびリズム (のんびりしたリズム)

元来の性質より、のんびりしているところが持ち味です。フリースペースを運営している時からその性質が如何なく発揮されています。アンガージュマンに来る人たち(特に子どもたち)に対してはまず、ここはのんびり出来る場所だよ、ということ伝えていきます。

#### その2. GY(行間を読む)

今や死語となったKY(空気を読めない)という言葉が流行していた頃から、周囲には「GY」の大切さを訴えてきました。シマダはでくのぼうだとか、昼行灯だという向きもございましょうが、そんな時には一呼吸置いて、一体シマダは何を考えているのか、ということに思いを至らせてはいかがでしょうか。明快な言葉や説明では表現しきれないことがこの世の中には多々あります。アンガージュマンに漂う雰囲気や時間は言葉では説明しづらい部分ですが、最も重要な部分です。こればかりは体感していただくより他はありません。

#### その3. 勝負は受けて立て！

明らかに負け戦と分かっているけど、戦いに挑みます。常に挑戦する意識は失いません。アンガージュマンの代表者を引き受けましたが、極めて苦しい状況からのスタートになります。子どもの頃からケンカは弱いし、勝負は嫌いでした。今でも変わりません。それでも、この戦いには臨みます。私は投げ出しません。

### 【方針】

#### その1. 原点に立ちかえる

温故知新という言葉が当てはまるかどうか分かりませんが、創業者たちに思いを馳せ、今一度初心に戻って運営をします。拠点を一つにまとめたこともその意図があります。そして、地域により深く関ります。

#### その2. 足場を固める

この5月より場所が一つになりました。スタッフの心も一つに事業を行います。それにはまずスタッフが安定して取り組むことができる環境を整えなくてはなりません。給与も無く疲弊している現状では事業を続ける事は困難です。

#### その3. コンパクトかつスピーディな経営

多様な事業を拡大していく方向性ではなく、事業をより深く掘り下げ、質の高いサービスを提供します。現状でも十分満たしていますが、上手に説明できていません。スタッフは少なくなりましたが、そのほうが動きがとりやすくなるはず。また、理事、役員の特権を強化する事で思う存分に力を発揮していただき、力強い運営を目指します。

#### その4. 長期借入金の返済

今まで重ねてきた借金の多さには目を瞑りたくなります。もはやこれ以上の借金が出来ないのは当然ですが、経費はこれ以上削る事は難しいので、収入を上げていく方法を模索していかなければなりません。地道にコツコツと…。今年一年が勝負です。

#### その5. 専門家の育成

既に私たちのスタッフは日々の経験の積み重ねにより、資格はありませんが専門家とっていいスキルがあります。むしろ、そこを強みと考え、子ども・若者に寄り添います。肩の力の抜けた関係のほうが壁が出来ず付き合い易いのです。



## 【お願い】

昨年からお願ひばかりで申し訳なく思います。

### その1. 本や野菜の購入

近くなら配達もいたします。それが若者たちの研修になります。どんどん使って欲しいところです。また、売上は団体の運営資金になりますから、お近くで無い場合はe-honを使ってインターネットで購入してください(別紙参照)。

### その2. 寄付のお願い

認定NPO法人取得のため、恒常的に寄付をお願いします。また、金額の多少に関らず、ご寄付いただく方の思いを汲み取ることが私たちの活動の原動力になります。

### その3. ボランティア

寄付のお願いにも書きましたが、皆さんの思いこそが私たちの活動の原資です。皆さんの思いを常に伝えて欲しいと願っています。どんな形でも構いませんから、お伝えください。  
.....

まちで生きる。

商店街の中で創業し、商店街の人たちにも支えられてこれまでやって参りました。そこから得たことは「まちで生きる」ということです。このまちが居場所です。このまちで学びます。このまちで仕事の勉強をします。アンガージュマンの事業は全て「まち」の営みのひとつとしていきます。「地域の活性化」とか「商店街の担い手」といった発想はもはや私たちにとっては過去の言葉です。まちの一員として、まちを活性化(盛り上げる)のは当たり前のこと。まちの一員として、まちの仕事をすることも至極当然。

アンガージュマンは全国で唯一無二の団体です。なぜなら地域(上町商盛会)と強固な関係を築いたから。しかも、私たちは町づくりをミッションとする団体ではありません。

でも、それは私たちにとっては過去のことになります。

この2、3年、他所から上町に戻ってきたときに「帰ってきた」という感覚になります。アンガージュマンに関する全ての人にこの感覚を伝えたい。私にとって縁もゆかりもなかったこのまち。これからはまちに暮らします。色んなアイデアが頭の中には浮かびますが、今回はこの辺で…。 (理事長 島田徳隆)

## ネクスト それぞれの学びとは

6月も新たに学習を始めた子がいます。学ぶ動機は、人それぞれ。もちろん、テストでいい点を取りたい、授業についていきたい、受験があるから…というようなことが思い浮かびますが、その向こうには様々な感情が渦巻いています。ほめられたい、怒られるのが嫌だから、バカにされたくない、分かれると面白い、分からないのは悔しい、将来につなげるために、難しいことに挑戦したい、etc. ネクストでは、学びを必要としている彼らにそっと寄り添い、時に叱咤激励し、時に頑張りすぎる彼らのペースを調整しながら、共に歩んでいます。ネクストの講師は単に教科学習を指導しているわけではありません。学習に取り組める環境を整え、それぞれに合わせた授業の進め方を検討し、今日の前で学びに取り組もうとする子ども・若者にエールを送り続けているのです。(リエコ)

## ボランティア 必要とされるボランティアとは

今回は、被災地と全国から集まるボランティアとをつなぐ「遠野まごころネット」のスタッフから伺ったボランティア活動についてです。岩手県釜石市箱崎地区は、津波で大きな被害を受け、沿岸部にある地区の中心に住むことはできず、高台の暮らしを余儀なくされているそうです。発災から時間が経過するなかで、がれき撤去も進み、ボランティアの姿も少なくなり、その場はより一層寂しいところになっていったそうです。1年3カ月が過ぎ、人の営みがあった場所を未だに家の土台だけが残るひと気のない光景として、高台から見続けることは、耐え難い状況だと。遠方からボランティアに訪れた人から「無駄ではないか」いわれることがあっても、しかし遠野まごころネットでは、その場にボランティアを派遣することを続けているそうです。人から必要とされることもいろいろですね。(タカヒロ)

## キックオフ 新講座！ 販売もコミュニケーション！

キックオフでは、新たに講座を設けました。法人理事の為崎さん・高橋さんを講師に迎え、就労に対する心構えや、実際に現場でも行かせる知識を身につけて行こうと考えています。

今回は「販売員と顧客・取引先とのコミュニケーションを考える」をテーマに行われました。「自分が顧客の立場になって考える」ために、自分が心に残った販売員さんや接客は？ と研修生に問いかけることからスタート。声がおおきい＝わかりやすい、はきはきとした言葉＝スムーズに買物が出来る・お客の立場になった親切な接客だと感じる、等の意見が出ました。「逆に嫌だと感じた接客について」は、ゆっくり選びたいのに話しかけられるや、専門品等を買うときにお客に対してどの程度の知識があるのかを確認してほしい、という声があがりました。

また、「商店街などの店がなぜ顧客とのコミュニケーションを大事にするのか？」では、お客様の信頼を得る→リピーターの獲得→口コミで広がる→売上UPとつながっていくことや、お客様から色々な情報を得ることができるのでは、などの意見を為崎さんにまとめて頂きました。

それぞれが色々な意見を発言した事を、ぜひ今後の研修に活かして行けたら良いものです。(アキラ)

## あばうと 顕微鏡で見る世界

あばうとは、相変わらずのまったりモード。6月はHくんが持ってきたテレビにつなげる(!)顕微鏡でいろいろな物を観察しました。髪の毛、手のひら、ティッシュペーパー、外から摘んできた草花、そして虫! 日ごろ見慣れたものでも、ミクロの視点では全く別の表情です。草の葉の表面はキラキラと輝いていました。人間の肉眼で見えている世界は極々一部なんだなあ、と実感しました。

トランプゲームのスピードや大富豪も相変わらずのブームで、誰からとなく「やろう!」の声がかかります。勝敗表も、かなり埋まって来ました。

みんな、ピクニックと称して、バスケットボールや釣竿を持って遊びに行ったりもしました。7月は何をしようかな♪ (リエコ)

## 昼食会 新スペースで工夫しながら…

雨にも負けず、風にも負けず、初夏の暑さにも負けず、昼食会は毎回々々ちゃ〜んと続いています。ただし、問題も色々…あるんです。作業台、調理台のスペースはぐーんと狭くなり、なおかつその一部は台の高さも以前より高くなりました。何しろ、あり合わせの家具を組み合わせて作った台所ですから…!(ボランティアの皆さんにもご苦勞をかけてます…)それでもどうやら慣れてきて、工夫しながら楽しく お料理しています。以前はアンガージュマンの扉を開けると、そこがダイニングでしたが、今はフリースペースとネクストスペースがお座敷席とテーブル席になっていて、これが案外落ち着くようです。皆さんもぜひ一度、新たなスペースとなったアンガージュマンの昼食会に来てみて下さいね!(ケイコ)

## 相談・カウンセリング キーワードは”解決”!?

### 相談・アウトリーチのすすめ I

「解決できないことが続いてしまっている」、ある社会的ひきこもり青年の言葉。社会との関係を絶ってしまう要因としてこの言葉を受け止めた。私たちの社会はすべてを自分で解決する、背負う社会である。本法人のスタッフも例外とは言えない。そういう自分自身も。「まあいいか〜」「こんなもんだ・・・」と自分を肯定できれば通り過ぎるのだが、「こんな自分ではダメだ!」と背負い込むと社会から身を引く。数年前の苦い体験がある。訪問で交流を深めたまでは良かったが、ある一言が関係断絶となった。「私にはあなたの課題を“解決”出来ない」と言うと、彼女は「それなら会う必要はない」と返してきた。相手を尊重し「解決する力はあなたの中にある」と私は言ったのだが、彼女は「寄り添う(支援する)ことを拒否された」と感じたのだ。ひきこもっている人が「このままでいい」と言えないし、相談・フリースペース・就労支援を提供している法人は「社会参加を願っている」からである。キーワードは”解決”である。冒頭の言葉「解決できないこと」を読み返したい。一人で抱えないで、社会の中で解決していこう。社会とは支援者(?)や仲間、友人や恋人そして家族を指している。本法人は自己責任ではない、共同(協同)社会に進む“社会参加”を願っている。出られないのなら訪問を、出られるのなら相談に来てほしい。あなたと家族を「孤立させないこと」を本法人は願っています。本屋/cafeと一緒にあった相談/フリースペース、狭いけど素敵な場です。6月25日現在 相談・アウトリーチ(訪問)13組21人に関わっています。(マモル) お問い合わせは、法人(046-801-7881)及び担当者(滝田 090-7212-4055)までお願いします。

## 灯ろうまつり ボランティア大募集!!!

今年の灯ろうまつりは7月13日(金)、14日(土)の2日間にわたって開催されます。この日ばかりは普段ののんびりした上町からは想像もつかないほど賑やかさを堪能できます。アンガージュマンもちろん、両日とも参加。ソーセージやBeer等を販売して、夏の夕涼みを盛り上げたいと考えています。その他にも例年どおりに上町の商店街の企画、浴衣の方に花火をサービス、お子さんにアイスキャンデーのサービス、流し踊りの際の交通誘導などなど、盛りだくさんのお仕事を引き受けます。ということで、どうにもこうにもボランティアでお手伝い下さる方を、絶賛大募集! です。さあ、浴衣、ムームー、アロハ、コスプレでアンガージュマンに集合!